



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 山陽電気鉄道株式会社
 コード番号 9052 URL <http://www.sanyo-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上門 一裕
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 水谷 大輔 TEL 078-612-2032
 定時株主総会開催予定日 2021年6月18日 配当支払開始予定日 2021年6月21日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	43,490	△15.8	781	△81.1	941	△77.6	422	△85.3
2020年3月期	51,633	0.3	4,146	12.5	4,208	12.7	2,879	26.0

(注) 包括利益 2021年3月期 1,644百万円 (△16.3%) 2020年3月期 1,964百万円 (7.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	19.03	—	1.0	1.0	1.8
2020年3月期	129.57	—	7.2	4.3	8.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 1百万円 2020年3月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	99,605	41,842	42.0	1,883.09
2020年3月期	98,435	41,524	41.1	1,818.56

(参考) 自己資本 2021年3月期 41,842百万円 2020年3月期 40,410百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,020	△4,454	△597	5,957
2020年3月期	8,114	△6,499	△391	8,988

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	666	23.2	1.7
2021年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	333	78.8	0.8
2022年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		33.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,168	—	2,673	—	2,677	—	2,010	—	90.47

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	22,330,598株	2020年3月期	22,330,598株
2021年3月期	110,413株	2020年3月期	109,461株
2021年3月期	22,220,745株	2020年3月期	22,221,589株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）今後の見通し」をご覧ください。

決算補足説明資料は、決算短信に添付しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する概況	2
(2) 財政状態に関する概況	3
(3) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 決算発表補足説明資料	16

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により二度にわたり緊急事態宣言が発出され、全国的に社会経済活動が制限されるなか、政府主導の各種経済浮揚策による持ち直しの動きもみられたものの、景気は依然として厳しい状況で推移しました。

このような情勢において、運輸業では外出自粛により旅客が大幅に減少したほか、流通業でも山陽百貨店の臨時休業等の影響を大きく受けるなど、各種感染防止策を講じつつ、厳しい環境下においての事業運営となりました。

当連結会計年度の営業収益は、43,490百万円と前連結会計年度に比べ8,142百万円(15.8%)の減収、営業利益は781百万円と前連結会計年度に比べ3,364百万円(81.1%)の減益、経常利益は941百万円と前連結会計年度に比べ3,267百万円(77.6%)の減益となり、親会社株主に帰属する当期純利益は422百万円と前連結会計年度に比べ2,456百万円(85.3%)の減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりとなります。

①運輸業

鉄道事業におきましては、沿線での行楽イベントの中止に加えて、緊急事態宣言の発出に伴う外出自粛により定期外旅客が大きく減少したほか、沿線企業での在宅勤務や上半期における学校の臨時休校が影響し、定期旅客も大きく減少したことから減収となりました。

また、バス事業におきましても、神戸市バス一部路線の運行・車両整備およびその管理等を2020年11月から受託するといった新たな取組みを開始しましたが、外出自粛による一般乗合路線の旅客減少に加え、トラストツアーの募集・催行中止や高速バスの一部路線の運休などにより減収となりました。

運輸業全体の営業収益につきましては、15,307百万円と前連結会計年度に比べ4,194百万円(21.5%)の減収となり、営業損失は1,738百万円(前連結会計年度は営業利益1,377百万円)となりました。

②流通業

百貨店業におきましては、「柿安ダイニング」や「エムズグレイシー」などの新規店舗の導入や、下半期に入り「大佛師 松本明慶 佛像彫刻展」をはじめとする話題性のある美術・宝飾催事を開催したことにより売上確保に努めたものの、緊急事態宣言の発出に伴い、2020年4月8日から5月15日まで食料品売場を除くすべての売場を臨時休業したことや上半期に集客催事を中止した影響が大きく、減収となりました。

また、コンビニエンスストア業におきましても、「ローソン+フレンズ」の一部店舗の閉店などにより減収となりました。

流通業全体の営業収益につきましては、17,335百万円と前連結会計年度に比べ4,766百万円(21.6%)の減収となり、営業利益は4百万円と前連結会計年度に比べ368百万円(98.8%)の減益となりました。

③不動産業

不動産業におきましては、加古川市での「リアラス東加古川」や大阪府守口市での「レジデンス大日ステーションプレミア」の引渡しなど、前期に比べ分譲規模が大きくなったことにより増収となりました。

不動産業全体の営業収益につきましては、分譲事業におけるマンション販売件数の差などにより7,599百万円と前連結会計年度に比べ916百万円(13.7%)の増収となり、営業利益は2,294百万円と前連結会計年度に比べ101百万円(4.6%)の増益となりました。

④レジャー・サービス業

スポーツ業におきまして、「サン神戸ゴルフガーデン」で来場者が増加したほか、飲食業では、テイクアウト需要が拡大したケンタッキー・フライド・チキンの各店舗や2020年1月にオープンした「マネケン山陽明石駅店」の売上が好調に推移したものの、外出自粛による出控えの影響などから減収となりました。

レジャー・サービス業全体の営業収益につきましては、1,884百万円と前連結会計年度に比べ135百万円(6.7%)の減収となりましたが、諸費用の減少などから、営業利益は102百万円と前連結会計年度に比べ26百万円(35.0%)の増益となりました。

⑤その他の事業

一般労働者派遣業および総合ビルメンテナンス事業での積極的な営業活動により、地元自治体等から新たに業務を受注したことなどから増収となりました。

その他の事業全体の営業収益につきましては、1,363百万円と前連結会計年度に比べ36百万円(2.7%)の増収となりましたが、営業利益は90百万円と前連結会計年度に比べ19百万円(17.7%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する概況

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較し1,169百万円増加の99,605百万円となりました。主な増減は、現金及び預金が3,081百万円の減少、流動資産のその他が1,049百万円の増加、車両新造工事の竣工等により機械装置及び運搬具が1,628百万円の増加、投資有価証券が1,042百万円の増加などがあります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較し851百万円増加の57,762百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金が1,574百万円の増加、未払法人税等が744百万円の減少などがあります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較し318百万円増加の41,842百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金が888百万円の増加、退職給付に係る調整累計額が272百万円の増加、非支配株主持分が1,113百万円の減少などがあります。

これらの結果、自己資本比率は42.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より3,031百万円の減少となり、当連結会計年度末には5,957百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、税金等調整前当期純利益、減価償却費の計上等があったものの、法人税等の支払等により2,020百万円となり、前連結会計年度に比べ6,093百万円の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、設備投資による有形固定資産の取得による支出等があったものの、有価証券の売却等により4,454百万円となり、前連結会計年度に比べ2,044百万円の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、長期借入金の返済による支出等により597百万円となり、前連結会計年度に比べ205百万円の増加となりました。

(3) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、個人行動の変化や施設の使用制限の要請により、当社グループでは運輸業における輸送人員の減少、流通業における来店客数の減少などの影響が出ております。

2021年4月25日発出の緊急事態宣言による影響を受け、現時点において新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは困難な状況にありますが、ワクチン接種が進むことで国内需要が徐々に回復していくという想定に基づいて、2022年3月期の連結業績予想を算定しております。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、営業収益は36,168百万円、営業利益は2,673百万円、経常利益は2,677百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,010百万円を見込んでおります。詳細につきましては、「P.16 4. 決算発表補足説明資料」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、また、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,116	6,035
受取手形及び売掛金	2,288	2,799
有価証券	701	—
商品及び製品	1,120	1,017
分譲土地建物	4,596	5,225
その他	925	1,975
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	18,745	17,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,502	35,770
機械装置及び運搬具（純額）	9,782	11,410
土地	22,123	22,425
建設仮勘定	1,581	1,711
その他（純額）	1,045	846
有形固定資産合計	70,035	72,165
無形固定資産		
無形固定資産	408	450
投資その他の資産		
投資有価証券	4,828	5,870
長期貸付金	61	56
退職給付に係る資産	2,361	2,589
繰延税金資産	678	179
その他	1,332	1,258
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	9,247	9,938
固定資産合計	79,690	82,554
資産合計	98,435	99,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,534	7,109
短期借入金	6,183	5,947
未払法人税等	809	64
賞与引当金	592	497
役員賞与引当金	46	4
商品券等使用引当金	229	232
その他	8,054	7,604
流動負債合計	21,451	21,459
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	23,493	24,496
繰延税金負債	1	141
退職給付に係る負債	1,670	1,515
長期前受工事負担金	208	413
受入敷金保証金	3,686	3,410
その他	399	326
固定負債合計	35,459	36,303
負債合計	56,911	57,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,854	7,037
利益剰余金	22,480	22,570
自己株式	△173	△175
株主資本合計	39,251	39,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	692	1,581
退職給付に係る調整累計額	466	738
その他の包括利益累計額合計	1,158	2,319
非支配株主持分	1,113	—
純資産合計	41,524	41,842
負債純資産合計	98,435	99,605

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益	51,633	43,490
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	42,037	37,805
販売費及び一般管理費	5,448	4,903
営業費合計	47,486	42,708
営業利益	4,146	781
営業外収益		
受取配当金	155	158
雇用調整助成金	—	153
受取利息	2	1
持分法による投資利益	0	1
雑収入	282	336
営業外収益合計	441	650
営業外費用		
支払利息	257	251
公開買付関連費用	—	142
雑支出	121	97
営業外費用合計	378	491
経常利益	4,208	941
特別利益		
工事負担金等受入額	366	563
収用等特別勘定取崩益	—	30
雇用調整助成金	—	29
投資有価証券売却益	—	23
固定資産売却益	13	0
特別利益合計	379	648
特別損失		
工事負担金等圧縮額	366	563
臨時休業等損失	—	94
減損損失	—	47
投資有価証券評価損	—	33
固定資産除却損	13	17
収用等代替資産圧縮損	—	1
固定資産売却損	3	—
特別損失合計	383	758
税金等調整前当期純利益	4,205	830
法人税、住民税及び事業税	1,342	115
法人税等調整額	△141	254
法人税等合計	1,201	369
当期純利益	3,004	461
非支配株主に帰属する当期純利益	124	38
親会社株主に帰属する当期純利益	2,879	422

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	3,004	461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△809	883
退職給付に係る調整額	△230	299
その他の包括利益合計	△1,040	1,182
包括利益	1,964	1,644
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,845	1,611
非支配株主に係る包括利益	118	32

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,090	6,853	20,268	△171	37,040
当期変動額					
剰余金の配当			△666		△666
親会社株主に帰属する当期純利益			2,879		2,879
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1			1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	2,212	△1	2,211
当期末残高	10,090	6,854	22,480	△173	39,251

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,496	696	2,192	996	40,228
当期変動額					
剰余金の配当					△666
親会社株主に帰属する当期純利益					2,879
自己株式の取得					△2
自己株式の処分					0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△803	△230	△1,033	117	△916
当期変動額合計	△803	△230	△1,033	117	1,295
当期末残高	692	466	1,158	1,113	41,524

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,090	6,854	22,480	△173	39,251
当期変動額					
剰余金の配当			△333		△333
親会社株主に帰属する当期純利益			422		422
自己株式の取得				△2	△2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		183			183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	183	89	△2	270
当期末残高	10,090	7,037	22,570	△175	39,522

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	692	466	1,158	1,113	41,524
当期変動額					
剰余金の配当					△333
親会社株主に帰属する当期純利益					422
自己株式の取得					△2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	888	272	1,161	△1,113	47
当期変動額合計	888	272	1,161	△1,113	318
当期末残高	1,581	738	2,319	—	41,842

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,205	830
減価償却費	3,860	3,916
減損損失	—	47
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△0	△31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	66	78
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40	△95
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	△42
商品券等使用引当金の増減額 (△は減少)	△3	2
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△1
受取利息及び受取配当金	△157	△160
支払利息	257	251
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	33
雇用調整助成金	—	△182
有形固定資産除却損	238	299
売上債権の増減額 (△は増加)	9	△261
たな卸資産の増減額 (△は増加)	302	△627
仕入債務の増減額 (△は減少)	618	△286
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△54	△461
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	108	39
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△335	△319
建設仮勘定の営業費振替額	283	386
その他	319	13
小計	9,768	3,430
利息及び配当金の受取額	156	160
利息の支払額	△257	△252
助成金の受取額	—	182
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,552	△1,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,114	2,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	—	50
有形固定資産の取得による支出	△6,635	△5,471
有形固定資産の売却による収入	17	0
有価証券の売却による収入	—	701
投資有価証券の取得による支出	△10	△4
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△100	△2
その他の投資その他の資産の取得による支出	△55	△183
その他の投資その他の資産の減少による収入	13	12
長期前受工事負担金等受入による収入	341	522
その他	△69	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,499	△4,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△57	575
長期借入れによる収入	5,600	5,250
長期借入金の返済による支出	△5,222	△5,058
配当金の支払額	△666	△333
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△990
その他	△46	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△391	△597
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,222	△3,031
現金及び現金同等物の期首残高	7,765	8,988
現金及び現金同等物の期末残高	8,988	5,957

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当社グループでは運輸業における輸送人員の減少や、流通業における来店客数の減少等の影響が出ております。現時点において同感染症の収束時期を予測することは困難な状況にあります。同感染症による売上等への影響は翌連結会計年度以降徐々に回復していくと仮定し、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、この仮定は不確定要素が多く、当社グループの財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは鉄道事業をはじめとする運輸業、百貨店業をはじめとする流通業を中心に、不動産業、レジャー・サービス業など沿線の活性化につながる各種事業を多角的に営んでおります。

当社グループは、上記の事業内容を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「運輸業」、「流通業」、「不動産業」、「レジャー・サービス業」、「その他の事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントにおける各事業区分の事業内容は、以下のとおりであります。

運輸業……………鉄道、バス、タクシー等の営業を行っております。

流通業……………百貨店業を中心に商品の販売等を行っております。

不動産業……………建物及び土地の賃貸・販売等を行っております。

レジャー・サービス業……………飲食業等を行っております。

その他の事業……………設備の保守・整備・工事業、一般労働者派遣業等、会社運営をサポートする事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のため採用している会計基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	その他の 事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	19,501	22,101	6,682	2,020	1,327	51,633	—	51,633
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	401	37	463	62	1,829	2,794	△2,794	—
計	19,902	22,139	7,146	2,082	3,156	54,428	△2,794	51,633
セグメント利益	1,377	372	2,192	75	109	4,127	19	4,146
セグメント資産	43,705	12,991	27,522	866	2,466	87,552	10,882	98,435
その他の項目								
減価償却費	2,647	287	857	44	23	3,860	—	3,860
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,489	102	58	62	13	4,726	—	4,726

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額19百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産17,097百万円、セグメント間取引消去△6,214百万円であります。全社資産の主なものは、当社の現金及び預金、投資有価証券等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	その他の 事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	15,307	17,335	7,599	1,884	1,363	43,490	—	43,490
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	360	47	379	47	1,737	2,572	△2,572	—
計	15,667	17,382	7,978	1,931	3,101	46,062	△2,572	43,490
セグメント利益又は損失(△)	△1,738	4	2,294	102	90	752	29	781
セグメント資産	45,758	11,710	28,767	851	2,484	89,572	10,033	99,605
その他の項目								
減価償却費	2,784	285	779	46	20	3,916	—	3,916
減損損失	31	—	—	16	—	47	—	47
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	5,952	42	1,379	72	8	7,455	—	7,455

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額29百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産17,166百万円、セグメント間取引消去△7,133百万円であります。全社資産の主なものは、当社の現金及び預金、投資有価証券等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,818円56銭	1,883円09銭
1株当たり当期純利益	129円57銭	19円03銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,879	422
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,879	422
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,221	22,220

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 決算発表補足説明資料

(1) セグメント情報 (連結)

(連結業績)

外部顧客に対する営業収益

	2021年3月期 通期(実績)	2020年3月期 通期(実績)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
運 輸 業	15,307	19,501	△4,194	△21.5
流 通 業	17,335	22,101	△4,766	△21.6
不 動 産 業	7,599	6,682	916	13.7
レジャー・サービス業	1,884	2,020	△135	△6.7
そ の 他 の 事 業	1,363	1,327	36	2.7
計	43,490	51,633	△8,142	△15.8

営業利益

	2021年3月期 通期(実績)	2020年3月期 通期(実績)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
運 輸 業	△1,738	1,377	△3,115	—
流 通 業	4	372	△368	△98.8
不 動 産 業	2,294	2,192	101	4.6
レジャー・サービス業	102	75	26	35.0
そ の 他 の 事 業	90	109	△19	△17.7
消 去	29	19	10	52.9
計	781	4,146	△3,364	△81.1

(連結業績予想)

外部顧客に対する営業収益

	2022年3月期 通期(予想)	2021年3月期 通期(実績)	増減額	増減率
運 輸 業	百万円 17,387	百万円 15,307	百万円 2,080	% 13.6
流 通 業	9,055 (19,524)	17,335	△8,280 (2,189)	△47.8 (12.6)
不 動 産 業	6,708	7,599	△890	△11.7
レジャー・サービス業	1,934	1,884	50	2.7
そ の 他 の 事 業	1,081	1,363	△282	△20.7
計	36,168 (46,637)	43,490	△7,322 (3,146)	△16.8 (7.2)

営業利益

	2022年3月期 通期(予想)	2021年3月期 通期(実績)	増減額	増減率
運 輸 業	百万円 30	百万円 △1,738	百万円 1,768	% —
流 通 業	134	4	129	—
不 動 産 業	2,298	2,294	4	0.2
レジャー・サービス業	148	102	46	44.8
そ の 他 の 事 業	49	90	△40	△44.5
消 去	11	29	△17	△61.6
計	2,673	781	1,891	241.9

※上記の2022年3月期通期予想は「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段()は「収益認識に関する会計基準」適用前の数値を記載

※連結業績予想の主な前提(2019年度比)

- ・運輸業 鉄道・定期外収入 約△17%
- 鉄道・定期収入 約△8%
- ・流通業 百貨店業 約△10%

(2) 金融収支 (連結)

	2022年3月期 通期(予想)	2021年3月期 通期(実績)	増 減 額	増 減 率
	百万円	百万円	百万円	%
受取利息・配当金	157	160	△ 3	△1.9
支払利息・社債利息	258	251	7	2.9
計	△ 101	△ 90	△ 10	—

(3) 減価償却費 (連結)

	2022年3月期 通期(予想)	2021年3月期 通期(実績)	増 減 額	増 減 率
	百万円	百万円	百万円	%
	4,053	3,916	137	3.5

(4) 設備投資額 (連結)

	2022年3月期 通期(予想)	2021年3月期 通期(実績)	増 減 額	増 減 率
	百万円	百万円	百万円	%
運 輸 業	5,259	5,952	△ 693	△ 11.7
流 通 業	107	42	64	151.6
不 動 産 業	4,035	1,379	2,656	192.6
レジャー・サービス業	57	72	△ 15	△ 20.8
そ の 他 の 事 業	8	8	0	0.0
計	9,468	7,455	2,012	27.0

(5) 鉄道事業運輸成績表 (個別)

(収入)

	2021年3月期 通期(実績)	2020年3月期 通期(実績)	増 減 額	増 減 率
	千円	千円	千円	%
定 期 外 期	4,508,366	6,581,296	△2,072,930	△31.5
定 期 内 期	5,522,227	6,209,699	△687,472	△11.1
計	10,030,593	12,790,996	△2,760,402	△21.6

(人員)

	2021年3月期 通期(実績)	2020年3月期 通期(実績)	増 減	増 減 率
	千人	千人	千人	%
定 期 外 期	15,765	22,362	△6,597	△29.5
定 期 内 期	33,572	37,587	△4,014	△10.7
計	49,337	59,950	△10,612	△17.7